

防犯ボランティア団体をつなぐコミュニケーション情報紙

おつかれさまです!

全国防犯ボランティアフォーラムで取組事例を発表!
神町パトロール協議会（東根市）

平成28年10月22日、東京都渋谷区内にある、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、警察庁が主催する「防犯ボランティアフォーラム2016」（以下「全国フォーラム」という。）が開催され、東根市で活動する神町パトロール協議会が取組事例を発表しました。

全国フォーラムは、特に先進的な活動を行っていると認められる防犯ボランティア団体が活動内容等を発表し、その内容を全国で共有することで、防犯ボランティア活動の活性化を促すことを目的に開催されました。北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の各ブロックから1団体ずつ選ばれた6団体が「活動上の課題解決に向けた取組」及び「他団体の参考となる優れた活動」をテーマに発表しました。神町パトロール協議会は、本誌第5号で掲載したとおり、本年7月9日、宮城県仙台市内で行われた北海道・東北ブロックの防犯ボランティアフォーラムで取組事例を発表し、その内容が、学識経験者や警察庁の方々から高い評価を受け、今回、北海道・東北ブロックの代表に選ばれました。



有識者から高い評価を受ける



（写真左が浦瀧会長、右が佐藤副会長）

全国フォーラムには、神町パトロール協議会会長の浦瀧昇一さん、副会長の佐藤博雄さんが出席し、「人材確保と活動活性化に向けた取組」というテーマで、全国から集まった防犯ボランティア、自治体職員、警察担当者などを前に堂々と発表されました。

有識者として参加した立正大学教授小宮信夫氏の講評では、「現状に満足することなく課題を浮かび上げらせて、その原因を分析し、それに応じた対策を1つ1つ講じている思考サイクルがすばらしい。危機感を持ち、将来を見据えた活動をしているところがすばらしい。レベルの高い団体である。」などと高い評価を受けました。（文～随行者：生活安全企画課 加藤）

【編集後記】 昨年の防犯ボランティアフォーラムにおいては、米沢市で活動する「防犯・交通米沢少年隊」が活動事例を発表しており、山形県の団体が2年連続で北海道・東北代表に選ばれました。これは、山形県で活動する防犯ボランティア団体のレベルの高さを示すものです。これが刺激となり、今後、ますます県内の防犯ボランティア活動が活性化し、団体間の交流や連携強化が図られることを期待いたします。